

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 020	提案機関名 農業技術センター北相地区事務所
要望問題名 スギナ・ハマスゲの効果的な防除時期と防除法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 近年県内では、露地、施設の別を問わず、野菜または1年生の花きを栽培する土耕の圃場、またはその予定で1～数年休閑している圃場で、スギナ・ハマスゲが徐々に増殖している。いずれも根茎で増殖することから冬期の耕起により凍結枯死を期待することはできるが、根茎による増殖能が極めて高く、種子・胞子による増殖能も高いこともあり、十分な防除効果が得られない。また抜去の防除効果は高いが、十分な面積を実施することは困難である。除草剤による防除では、休閑中はグリホサート剤による防除が適用となっているが、根茎の十分な範囲に効果が及ぶ散布方法は明瞭には示されておらず、十分な防除効果が得られない。 休閑期間が長い圃場ほど、この2種の雑草が蔓延する傾向があり、防除困難であることからさらに利用が敬遠され、不耕作地の拡大につながっている。 この2種の雑草の茎葉部はグリホサート剤を含む各種の除草剤によりよく枯れることから、効果的な散布時期と散布法(とくに散布時期)が明らかになれば、根茎の十分な範囲に効果を及ぼすことができるものと考えられる。そこで、調査研究をお願いしたい。また、除草剤によらない省力的な防除法の研究開発もお願いしたい。	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (、 、 の場合)			
対応の内容等 試験ほ場の問題から水田以外の除草剤試験は実施が困難です。スギナやハマスゲなどの多年生雑草は防除が困難ではありますが、既存の除草剤を適期に散布することで一定の効果を挙げることは可能となっておりますので現地での対応をお願いいたします。なお、新規の薬剤については情報を収集してまいります。			
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			